

# 仕事・家庭における男女共同参画推進【京都市】

総事業費	477 千円
交付金額	238 千円

## 地域の実情と課題

**【実情】**  
 ・本市における年齢階級別の女性の就業率は、30～34歳で最も高く、35～39歳以降で低下し、40～54歳で回復しており、いわゆる「M字カーブ」の傾向がはっきりと見られる状況にある。  
 ・京都府内企業において、男性社員の育児休業取得率は10.0%と、全国水準(12.65%)を下回っている。

**【課題】**  
 ・京都においては、少子高齢化や人口減少が進行する中、女性の就業状況や男性の育児休業取得率は全国平均・水準を下回り、女性管理職の割合は全国水準を上回るものの、更なる伸長が求められる。

## 目的・目標

**【目的】**  
 働きたいという希望を持ちながらも働くことができない女性や職場でのステップアップを希望する女性等、自らの意志によって働き、または働こうとする女性がその思いを叶え、ひいては、男女がともに多様な生き方・働き方を実現することにより、ゆとりがあり、豊かで活力あふれ、生産性が高く持続可能な京都を目指す。

**【目標】**  
 ①京都府内における男性の育児休業取得率(京都府独自調査)30%⇒実績42%  
 ②事業の参加者数 100名⇒実績24名

## 事業の特徴

- ①夫婦の育休復帰・家事育児参画講座  
 女性が男性に比べて家事育児の多くを担っている現状を踏まえ、家事育児を男女が分担することで、女性は育休後に安心して職場復帰ができ、また男性は家事育児を自身の日常生活の一部として捉えられるように啓発する講座、また、子育てしながら自身のキャリアや働き方について考えることができるような内容の講座である「ワーキングペアレンツに贈る自分らしいライフ・キャリア発見セミナー」を開催した。  
 講座最後に講座のポイントをまとめた動画を配信し、受講者以外にも広く視聴できるようにした。
- ②女子学生の正規雇用のための能力開発等キャリア形成支援  
 今後就職する学生を対象に、女性が結婚や出産等のライフイベントを迎えても就業継続するイメージを持って職業生活をスタートできるよう、仕事で活躍するロールモデル女性から今後のキャリアデザインについて学んだり、交流する機会を提供した。

## 連携団体

<「輝く女性応援京都会議」構成団体>  
 京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロブチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

## 事業の効果


夫婦の育休復帰・家事育児参画講座では、働きながら子育てをする男性・女性それぞれの課題を取り上げ、キャリアとライフプランを統合的に考える機会を提供できた。  
 学生向けセミナーでは、多岐にわたる社会人女性のロールモデルと学生との交流を通じて、参加学生のキャリア選択の視野を広げ、多様な働き方への理解を深めるとともに、実践的なキャリア形成に向けた具体的な行動への意欲を高められた。

## 今後の課題

夫婦の育休復帰・家事育児参画講座は、家族の体調不良等を理由とした当日の受講キャンセルが複数見られたことから、今後はオンラインでの受講も検討する。加えて、フォローアップとして参加者で感想や意見を共有することで、参加者同士のつながりも促進していく。  
 学生向けセミナーは、京都商工会議所との連携により、幅広い職業分野で活躍するロールモデル女性を確保できたが、実施時期が大学の前期授業終了後であったため、参加者が伸び悩んだ。今後は、就業面での女性の活躍に対する男性の理解や共感を促進することを狙い、従来は参加を女性に限定したところ、男性の参加について検討する。

# 事業の概要

## ■ワーキングペアレンツに贈る 自分らしいライフ・キャリア発見！セミナー

開催日時	第1回 令和7年10月 5日(日) 第2回 令和7年11月 8日(土) 第3回 令和7年11月29日(土)	
会場	京都市男女共同参画センター ウィングス京都	
参加者数	延べ52人	
内容	<p>働きながら子育てする「女性」「男性」それぞれの視点に立ち、子育てと仕事において直面する困難をひもときながら、自分らしいライフ・キャリアを探り、これからの暮らしと仕事のバランスを思い描くヒントを見つける内容の講座を開催した。</p> <p>第1回 男性が子育てでも仕事もできる環境って？ 第2回 女性が働き続けるために必要なことって？ 第3回 自分らしい未来を見つけよう</p> <p>講師：第1回：中里 英樹（甲南大学 文学部 教授） ロールモデル：中村 篤人（コミュニティ・バンク京信 人事部 主任 / 1児の親） 第2回：奥野 明子（甲南大学 経営学部 教授） ロールモデル：國定 若菜（knocks! horikawaみんなの図書館 主宰 / 3児の親） 第3回：植田 香代子（1級ファイナンシャルプランニング技能士・キャリアコンサルタント）</p>	

## ■女子学生向けセミナー(ロールモデルに聞いてみよう！ ジェンダーから見たキャリア構築)

開催日時	令和7年7月31日(木)
会場	京都女子大学図書館1F交流の床
参加者数	7名
内容	<p>今後就職する学生を対象に、女性が結婚や出産等のライフイベントを迎えても就業継続するイメージを持って職業生活をスタートできるよう、仕事で活躍するロールモデル女性から今後のキャリアデザインについて学び講座を開催した。</p>

司会：久保田 若菜（株式会社HINATAE代表取締役）  
 ロールモデル：山本 あかね（株式会社RUBIA代表取締役）  
 村井 裕美（スター食堂株式会社 レストランスター京極店料理長）  
 高木 香那（株式会社レイズ取締役）